

事業所名：グループホーム「城下」にしありえ

作成日：2024 年 10 月 8 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先 順位	項目 番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	アセスメントの【項目3立ち上がり・移動動作等】のADLを更に細分化するとともに、「寝返り」「立位」「歩行」「移乗」等の詳細な能力を増やし、日々のリハビリ等に生かしていく予定である	アセスメント表【項目3】を細分化し介護計画表の内容を詳しく記載し、リハビリや生活に生かしていく	アセスメント表【項目3】を「寝返り」「立ち上がり」「立位」「歩行」「移乗」「移動」と内容を細かくし改善点をより詳しく記入していく	3 ヶ月
2	26	アセスメント及び要約票に介助理由とケア内容、心理・行動障害の原因とケア内容、各活動のご本人の要望、医師や看護師の意見等とともに、介護計画に日々のケア内容を追記していく予定である	アセスメント表に介護内容等が少しでも変わったら色を変えて付け足すことで、より良いケア計画表を作成していく	状態の変化や、新たな本人の要望等が出てきたら、アセスメント表や基本情報等に追記していく	3 ヶ月
3	26	介護計画の2表に「本人」「家族」等の役割を増やし、家族と一緒に計画の話し合いを行っていく予定である	介護計画の2表に本人が行うこと、家族が行うことの欄を設け、一緒に考えてもらう	アセスメント表を基に、本人ができる事を詳しく書き、またご家族に何かできる事や協力できることを考えてもらい介護計画に記入していく	3 ヶ月
4	11	職員は介護職としてプロの仕事を続けており、チーム力の制かも見られている。今後も職員の小さなストレスを共有し、改善できる方法を検討していく予定である。	全職員がストレスをため込まないよう職員間で共有し話し合いを行うことでより良いサービスの提供を目指していく	法人内の研修で、同じ年代の職員間での話し合いを行い、ケアについて困っていることや悩んでいることなどを共有していく。また、対処方法なども話し合う	12 ヶ月
5	11	身体拘束委員の施設訪問を再開して職員のストレス度合いを確認していく予定である	法人内の身体拘束委員が各施設を回り、介護の方法や言葉かけの様子を確認する	年に2回身体拘束委員が施設を回り、職員のストレスチェックや言葉かけ・施設の様子をみて、各施設に報告する	12 ヶ月